
柚子の薫り

yatenyue

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

柚子の薫り

【Nコード】

N0419Z

【作者名】

y a t e n y u e

【あらすじ】

学園から戻らない、妹蜜柑を心配して訪れるのは双子の兄の柚だった。

蛭同様妹に対する態度は、まああれだが、妹を溺愛する彼が何を引き起こすのか？

サイトの夢小説からの転載

ブローグ 怒りの叫び

「っ 柚、柚やあゝ」

ドタバタと騒がしい音とともにがたと襖が開かれる

「…ふあ…まだ遅刻する時間じゃないよ。」

じいちゃん

蜜柑起こしてたんじゃないの？」

眠たそうに話す少年・柚。

「蜜柑が・みかんが、

わしのへそくりもって出ていきおった・・・」

そして差し出す妹^{ミカン}の手紙

それを読んだ瞬間　グシャツと少年いや柚は握りしめた。

そして、

「やってくれたな　あのバカ娘（黒）

じーちゃん　悪いけど俺も行くよ

あのバカ娘だけじゃ不安だし

それでも、兄だからね。

すっかりまもってやんよ（あーあー。せつかく螢に言われて黙ってたのに

見つかりにくいアリスだからって）」

ちゃんと、取り次ぎもしなかった妹と違い、

近所や学校へのあいさつ、手続きをし、旅立つのだった。

（しーちゃんが手紙を渡そうとしたけど、書くの遅いしいつになるかわからないし

ってことでさっさと旅立ったのであった）

「さつて・・・」

どうやって入れてもらうかな？

門を壊してもいいけど、後々教師がうるさいしね」

妹とは違い頭が回ったこと考える少年が1人。

アリス学園前で立っていた。

門に必要以上に近づかないため門番たちも扱いかねているようだ。

「何をしている？」

そこにきたのは不審者の通報で見回りをしていた神野先生であった。

「はい??」

神野先生の方をむく柚。

「貴様は行…いや違うな。」

お前名前は？」

「（ニッコリ）」

知らない人に話す名前はありません

「……といいたいところですが、ここら辺を漁る詐欺師のように
は見えませんか」

・・

もしかして、ココの教師ですか？」

「・・・あ ああ」

あの人 にそっくりの顔で理論的な話し方がでたので困惑したよう
だ。

「はじめまして、佐倉 柚です。」

妹がお世話になっています。

すみません 馬鹿で」

あの人 とは違う思慮深さ

それはなんだかんだいって あの人と気に入る

その視を悔やんだー神野先生が

あの人に 持っていてほしかった一面であつた……………

しかしその瞳は あの人同様輝いていた。

亡き父同様に……………

だが、それとこれとは別だ。

「何の用だ。

妹には会えんぞ」

「…蛍から聞いて隠していましたが、

僕もアリスです。

本当は隠し続けるつもりでした。

けど、妹はやっぱり守らないとでしょう。」

まさしく父と母の「家族」の夢を体現したような兄弟愛だった。

「…（運命は止められぬ…か）」

お前の持っているというアリスは？」

「瞬間移動と、妹と同じ無効化、
テレポート ミカン

そして、錬金術です。」

テレポート以外珍しいアリス

間違いないく、少年の先は妹と同じく波乱に満ちているだろう

ブログ 怒りの叫び（後書き）

懲りずにまたかですが、始めました

彼は、言うなら頭がいい版の泉水です。

更新は激遅ですが、気長に待ってください。

01 転校生。

兄！？（前書き）

今回はストックがありました。が、今度からは早くて月1かなあ

01 転校生。

兄！？

「鳴海先生……。転校生だ。」

「はいVV。」

どんな子で、……え？」

「はじめまして。」

佐倉 柚です。

不肖の妹がお世話になっています。」

01 転校生。

兄！？

「な　　な　　。」

蛭 V V。知つとる？

今日転校生が来るんやて〜」

能天氣に笑う、数日前まで意識不明だったとは思えない少女・佐

倉 蜜柑。

「そんなのとづくに知ってるわ。

遅いわよ、貴女。

それより、私、あんたに聞き忘れたことがあったの忘れていたわ。

」

冷静にその紫紺の瞳をまっすぐ蜜柑に向けて言う。

「なーに？」

無邪気にブラウンの瞳を輝かせて言う。

太陽のような笑顔で。

レオによる、棗誘拐事件が収束し、蜜柑は数日前、棗は昨日退院し、普通の、学園祭に向けた学園生活を送っていた。

この出来事はそんなときに起こったことである。

「あんだ 柚にちゃんと言って家、出たんでしょうね」

「・・・」

あー

忘れとつたー！。どなんしょう

今から手紙書いて間に合うかな（ブルブル）

うち、今は手紙届けてもらへんし。

ほたる~~~~

助けて~~~~」

「嫌よ、『間に合うか』」

ドッコーン

大きな音が響いた。

教室のみんながその方向に注目する…と

そこには、目を回す頭にたんこぶを作った少女と、珍しく目を丸くした少女。

そして、手に大きなハンマーを持つ超絶美少年がいた…。

（周りがぶっ壊れているのは、見ないでおこう。…）

蜜柑の屍（違っ）をよそに蛍とその少年は話していた。

「久しぶりだね。蛍」

「そうね、来ちゃったのね 柚。」

めったに笑わない蛍の顔に微笑が浮かぶ。

「ちよ、

誰よ今井さん

この人」

そういうパーマこと正田 スミレ。

「ああ、僕は

「柚やあーーーーー」

………蜜柑。」

少年は呆れた顔で言った。

金がかった茶色の髪に緑がかった青の瞳を持って…。

立ち直った（早っ）蜜柑が彼に抱きつく。

その瞬間少し雰囲気が変わった気がした。

女子の殺気立った嫉妬と羨望の感情と

一部の男子（棗と流架）のなぜかは分からない視線で

彼も嫌そうにはしておらず、軽く頭をなでる。

「なんでここにおるん？」

まあええわ。すごい嬉しいわあ

（ボア）

炎が燃え上がる（橙なので低温ではあるが）。

蜜柑の髪端が少し燃え出す。

彼はそこを少し触り炎をとめる。

「何、女の子のしかも蜜柑の髪を燃やしてんのさ。」

「そのしょーねん」

そんな柚を無視して蜜柑に言う。

「おい、水玉。そいつは誰だ？」

「水玉やあらへんもん。」

それに柚は柚や。」

「それじゃあ

わかんないでしょうが、蜜柑。

今日、このクラスに転校してきました佐倉 柚です。

「うちの双子のお兄ちゃんなんやあー」……」

「「ええー」」

それもそのはず、二人の容姿はまったくもって似ていない。

まあ蜜柑は母親似、柚は父親似だから仕方ないのだが

思わず蛭が

「うるさい」

と言った。

「まあまあ」

と蜜柑がなだめる。

「まあ、佐倉さんのお兄さんなの、

かぶるから柚君でいいかしら？

私は、正田 スミレよ。よろしくね〜v v」

「スミレさん。

綺麗な名前ですね（微笑）」

起こったとき以外は敬語な柚。

しかも、妹と同じ無意識たらしである。

「おい、お前、アリスは何だ？」

そう尋ねるのは、棗だ。

「（人においねえ……。さっきは蜜柑を水玉なんて読んでたし。

まああとあとそれはシメるとして…）」

テレポートと、こいつと同じ無効化、それに錬金術」

「…無効化も？」

その蛍のつぶやきはそのあとの女子の叫びに押しつぶされた。

「きゃー 3つもすっごーい。」

じゃあじゃあ

星階級は？」

「…星？ですか。」

もしかしてこれのことですか？」

出したのは3つの星。

「トリプルだわ。 やっぱり、妹違って優秀「おい、蜜柑の悪口を言わないでくれる？」

消すよ。「はい」

「いいなー、柚うちなんて今はシングルやけど最初は星なしやで」

「あー、そうでしたか、でも蜜柑には蜜柑の良さがありますよ、蜜柑がバカなのはいつものことですしね」

さりげなくひどいことを言うが、妹思いな柚なのであった。

0
1
e
n
d

主人公紹介

佐倉 柚

蜜柑双子兄

『柚子の薫り』

デフォルト名

佐倉 柚

名前が示す通り、蜜柑の双子の兄。

妹を溺愛している無意識シスコンだが、当の本人に対する態度は虫と同等。

腹黒

人付き合いは良い… だろう たぶん

アリス：瞬間移動、無効化、錬金術

妹は、無効化、盗み、入れる

星階級：

クラス：B組・特力系

容姿：（泉水そっくりな）美形

金に近い茶色の髪

緑がかった青瞳

その他：無意識たらし（妹と一緒に）

顔そっくりだし、アリスもそれなのに、ジンジンには気に入られてる（優秀だから）

みかんと違い自分たちが 祖父と血のつながりがないことをうすうす感ずいている

追記：錬金術のアリスとは、そのまんま鋼錬の錬金術師です。

物質を理解、分解、再構築できます。

学アリ7・5巻風紹介をすると

佐倉 柚

Y u z u S a k u r a

初等部B組

E l e m e n t a r y d i v i s i o n B c l a s s

誕生日 1月1日

年 10

a g e 10

髪

金に近い茶色の髪

瞳

緑がかった青瞳

アリス

A l i c e

? 瞬間移動

t e l e p o r t

? 無効化

c a n c e l A l i c e

? 錬金術

a l c h e m y

能力の高さと珍しさ

a l i c e r e v e l & a m p ; r a r e

? r e v e l + @

r a r e

? reveal + @

rare + @

?r
e
v
e
l
+
@

rare + @

星階級
star
rank
triple

能力別クラス

alice
style
class

特別能力系

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0419z/>

柚子の薫り

2011年12月1日19時56分発行